

第3期宮前区区民会議 第8回 活力づくり部会 摘録

日 時 平成23年7月7日(木) 18:00~20:00

場 所 宮前区役所 第4会議室

参加者 委 員 山下委員長、直本副委員長、佐藤部会長、大村委員、藤田委員、
豊島委員、恒川副委員長(オブザーバー)

事務局 有山企画課長、雨宮係長、白石職員
阿部コンサルタント

1 前回の振り返り

- ・ 資料1 第5回区民会議の資料イメージを用いてこれまでの振り返りと本日の議論のポイントを確認。
- ・ 資料2 第7回の摘録(案)を確認。

2 坂道マップづくりに向けた検討

1) ウォーキングコースの検討

- ・ ウォーキングコースの事務局案を説明。

(1) 犬蔵周辺のコースの補足

山下 カバーしていない地区がある。大規模なマンション開発が行われている犬蔵周辺は新住民が地域になじめるようにという意味でコースをつくってよいのではないかと。周辺にはスポーツセンターがあり、急な坂道もある。それらを取り入れてもよい。

佐藤 今回は18の坂道に絞るといった話が出たが、どうか。

直本 数的には7コースくらいあってもよいが、他コースと比較したときにあまり良くないということであれば外してもよいのではないかと。地理的なことがよくわからないので、なんともいえない。

山下 実際に行ってみて、犬蔵中学校やスポーツセンターの脇を降りる坂道や階段が良かった。菅生緑地に上がる階段もある。

大村 提案するのであれば、コースをつくってみなさんに諮ってほしい。実際に歩いてみないと分からない。

直本 そのコースは土橋・鷺沼エリアのコースの延長線上にあるのか、全く別なのか。

山下 隣接している。犬蔵中学校の上にスポーツセンターがあり、そこから蔵敷方面に尾根道があり、良い感じになっている。

佐藤 ページ数やコンテンツなどの調整によって、掲載できるとなった場合にまた相談する。

(2) 付加価値を付けたコースの検討

大村 付加価値をつけたコースを検討すべき。坂道の魅力を徹底的に調べ、神社仏閣の盛り込みや四季を捉えたコース設定を考えないと魅力的なものにならない。

第3期宮前区区民会議 第8回 活力づくり部会 摘録

2) 目次・コンテンツ案について

- ・ 各自が提出した宿題シートを確認。
- ・ 大村委員が目黒区ウォーキングのススメに掲載のコースを歩いた結果を報告。

(1) 趣旨や作成主体の追加

山下 マップをつくる趣旨や活力づくり部会が提案したことなどを入れたい。

区 マップの冒頭に入れてはどうか。

(2) 健康に関する内容の追加

豊島 ウォーキングが終了後のクールダウンのための整理体操を載せてはどうか。

佐藤 公園体操を載せられるといい。一文載せる程度を考えている。

大村 公園体操をすべて掲載するのは難しいが、コースごとに入れてもよいのではないか。

(3) コースに掲載する情報

佐藤 歴史資源をどれだけ載せるか。積極的に載せるか。

直本 一度載せたい内容を全て出して、それから取捨選択したほうがよい。全ての情報を載せると文章が多くなり、ポイントが絞れていないものになってしまう。

佐藤 目黒区のマップは載っていない情報が結構ある。

藤田 目黒区くらいのページにするためには、情報がある程度落とすしかない。

大村 各コースの歴史などの項目を挙げ、チェックリストをつくり、リストアップすることでもれなくマップができるのではないか。

直本 歴史などは他の資料から整理しやすいが、四季の変化は整理しにくい。

佐藤 ある程度チェックリストをつくって、作成の過程で取捨選択していくということではどうか。歴史資源を含め、バス停や休憩場所は載せるということではどうか。あとは分岐点のポイントについても掲載できれば積極的に載せていく。

大村 分岐点のポイントとして番地を入れていると分かりやすい。

(4) 坂道の高低差に関する情報の追加

直本 名前が付いている坂道は現在の地図上では下る方向を表示しているが、それ以外の部分が平らなのか、坂道なのか分からない。それらが分かるようにしたほうがよい。

藤田 目黒区のように高低差がわかるような表現をしてはどうか。

区 下水道の図面から、高さはわかる。現地で計測作業したり、測量したりすると大変なのでどこまでの正確さを目指すか。

佐藤 高低差についても載せていく。

(5) バス路線情報

佐藤 コースごとにバス停を載せることとは別に路線図を入れた方がよい。

直本 スタート・ゴールを通るバスはどの駅から出発・到着するか、運行時間の間隔、乗車時間といった情報を載せればよいのではないか。

第3期宮前区区民会議 第8回 活力づくり部会 摘録

(6) ウォーキンググループの紹介

佐藤 ウォーキンググループの紹介をしてはどうか。仲間を見つけるという意味でも良いと思う。

藤田 町内会ごとにあるなど、グループ数が多く、載せるのは難しいのではないかと。

大村 一度リストアップしてもよいかもしれない。

山下 こういう活動をする人に設定したコースをみてもらえれば、良いか悪いかの判断をしてもらえる。

藤田 町内会ごとに活動していても歩いているコースが宮前区とは限らない。

直本 一緒に散歩している人にマップを作っていることを話したら、ぜひ宮前区を歩きたいと言っていた。関心はあるようだ。

佐藤 町内会ごとにあることを考えると、ウォーキンググループの紹介は難しいか。

3 制作体制・スケジュールの検討

藤田 制作体制を検討すべきではないか。区民会議は今年度末までの任期なので、どこまでやるかも決めないといけない。今日と同じ会議をやりながら、マップを完成させることはできない。だからコンセプトとコースをある程度決め、これから作業に入れる状態までつくりあげないといけない。編集は新たに組織をつくらないといけない。

佐藤 藤田さんの宿題にある有志募集とは委員以外を募集するということか。

藤田 口コミで委員以外に1人だけ入れるというイメージ。あまり人数が多くても話がまとまらない。

区 できれば委員の有志にやってもらいたい。公募は辞めたいと思っている。ゼロからの検討になる可能性が高い。声をかけるにしても、委員の知り合いなどにする程度ではないか。

佐藤 平成24年度早めの完成を想定した場合、初山・菅生エリアコースの生田緑地周遊散策路は平成24年度中に完成するのか。

区 平成24年度工事発注なので、いつできるかは保証できないと言われている。

佐藤 四季のポイントを押さえないという意見もあるので、1年かけてじっくり四季を調査したほうがよいのではないかと。

藤田 肝心なのはいつ発行するかを決めることではないかと。

区 来年度区制30周年なので、それに合わせたい。そのため、平成24年度中に発行したいと考えている。それより早くするという事にこだわりはない。

藤田 来年3月までにどこまでやるかが肝心で、そのためにいつ発行するかを決めないといけない。マップの完成が来年度末でいいのか。それを前倒しする必要があるのか。

佐藤 区民祭などのイベントに間に合わせることも考えられる。

藤田 マップの発行が目的ではない。これをどう活用するか。イベントをやるのであれば、夏ではなく、秋から冬にかけてになるのではないかと。

直本 イベントは1回やったらおしまいではなく、第1弾のイベントを活用していくイベントを組み込んでいかないといけない。それを考えると、9~11月にイベント、その前にマップができるとうい。

第3期宮前区区民会議 第8回 活力づくり部会 摘録

藤田 だから来年度予算はマップ印刷費と最初のイベント予算を取ってもらう必要がある。

直本 来年度3月発行の場合、イベントは再来年度になってしまう。やはり平成24年度の夏くらいをマップ完成の目安とし、秋にイベントを考えてはどうか。

佐藤 来年度夏にある区民会議の全体会でも発表できるとよい。来年8月くらいを目途にマップを完成するという事か。

恒川 区長にどこまで提案するかを考えてはどうか。

藤田 区長にはマップのイメージ、それを活用したイベント等の2年程度の計画書を提案することになるのではないかと。それに対して実務をどうしていくか。

佐藤 冒険遊び場もカルタもそれぞれ区民会議委員の任期終了後に継続検討している。

恒川 四季ごとの情報をいれるのか。転入者に配布するものなのか。有料・無料にするか。宮前区民に宮前区を知ってもらうためのパンフレットの的なものとして作成するのか。今後の検討課題である。

区 地参知笑部会ではガイドブックのガイドブックを作成し、転入者に配布する予定である。そこでマップを紹介してはどうか。転入者に配布までしなくてよいと考えている。

佐藤 地参知笑部会のガイドブックとは別に、こちらはあくまで独自の路線でいくべきだと思う。

大村 そういう議論はできてからでいいと思う。コースづくり、体操、冊子づくりなどの3つくらいの作業部会をつくり、来年3月までにまとめて、冊子ができるくらいのつもりで動かないといけない。そうすれば8月くらいまでに印刷したものができる。

佐藤 四季折々をどう取り入れるか。

大村 やり方は考えるしかない。例えば、花であればいつ咲くかを想定するしかない。

佐藤 部会とは別に作業部会を立ち上げ、3月までに内容を煮詰めるということか。

直本 どこから、どんな材料を収集できるかは検討が必要。実際の編集や取捨選択は来年4月以降でもいい。

藤田 この会議だけではまとまらない。3~4人でグループをつくって、月に2回程度集まってやる必要がある。

恒川 マップの具体化は区長に提案をした後の話ではないか。どういうマップをつくるのかのイメージを議論するのはいいが、実務的な作業やいろんな問題は区長に提案してからではないか。

藤田 どういうマップにするかのイメージはつくらないといけないのではないかと。

直本 6コースのうちの1コースを試しにつくってみてはどうか。写真は集めようと思えば、写真展などの写真を活用してはどうか。探す方法はいろいろと考えられる。

藤田 来年3月にどういった提案をするかだと思う。

山下 提案はいつまでに行うか。

区 11月の全体会に提案に近いものをつくり、2月に最終報告の確認になる。

直本 この部会はマップづくりが最終目的ではない。その先がある。

藤田 10月くらいにはマップ活用方法の議論をしなければいけない。コースについても1度歩いてみないとだれもオーソライズできない。

佐藤 区長に提案するにしても、ある程度こういうものでこういう活用方法があるということによって提案しなければいけない。2期・3期とやってきて、その詰めが甘いということ

第3期宮前区区民会議 第8回 活力づくり部会 摘録

を感じている。結果的に2期は次年度以降に区民会議を延長して会議をやっている。そういうことが増えると、区民会議の委員になってくれる人も減ってしまう。ある程度綿密に提案を考えてもいいのではないか。

ただし、1つのことだけに議論が集中してしまうと他の議論ができなくなるので、別に作業部会をつくったほうがよいと思うがどうか。

藤田 マップ編集は業者が入らないといけないと思う。そうするとこちらとしては秋くらいから作業部会を立ち上げて印刷業者に渡せる情報等を整理しないといけない。

山下 全員がコースを歩いて、基礎情報を得ないと議論が進まない。

佐藤 それでは負担が大きいので、作業部会をつくってやっていくのではないか。

藤田 全員で歩く必要はないが、手分けしてコースを歩いて大丈夫かどうか確認して、部会に報告してはどうか。部会報告をもとにどのようなPRができるかを考えられる。

佐藤 魅力的なマップをどうつくっていくかが重要。また誰かに歩いてきてくださいとしても、前回の会議と同じことを繰り返し、議論が進まないと思う。作業部会をつくったほうがよいと思うがどうか。

藤田 印刷業者が作業に入れるようなデータをまとめていけばよいのではないか。

直本 作業部会がいいが、そこに入らなかった委員にとって、この部会はどうなるのか。

佐藤 その後はイベントやPR方法などを集中的に審議していくことになるのではないか。

直本 次の部会までに作業部会である程度煮詰め、それを検討してもらうのか。

佐藤 次の部会までには難しい。

直本 他の委員が浮いてしまうのではないか。

藤田 1コースつくればよいのではないか。あとはそれに準じてつくる。

佐藤 それであれば次の部会まで間に合うと思う。

藤田 9月に作業部会を立ち上げる話をして、実際に動けるのは10月くらいか。

豊島 ここだけで作業部会は決められない。みなさんの意見を聞く必要がある。

区 作業部会を同じような部会としてやっていくのか。有志だけの手弁当でやっていくのか。部会として立ち上げる場合は、区民会議の中で了承を得ないといけない。

直本 このマップの下準備を進める部会である。

区 この中の有志でやるという趣旨か。

藤田 宮前区のガイドマップを改訂しており、そのメンバーに出してもらえないか。

直本 委員有志だけでなく、区民会議だけじゃない人も入れるということか。

藤田 作業部会のメンバーに、ガイドマップをつくっている人に1人入ってもらってはどうかと思ったが、あてがない。

直本 1回くらい助言を求めてもいいと思うが、常時はどうかと思う。

区 これまで宿題シートで情報収集してもらったように、部会の合間に何人か集まってもらい、情報収集するのであれば、何の制約もないし、それであればメンバーを固定する必要もない。

藤田 部会は3~4人でいいのではないか。

佐藤 人数があんまり多くても議論が進まないという難点がある。

山下 作業部会でたたき台をつくり、次の部会で提案してもらうことになるのか。

佐藤 それでよいか。

第3期宮前区区民会議 第8回 活力づくり部会 摘録

山下 コースを決めないと次の議論ができない。

直本 コースを歩くにしても、今度は2人で歩かないと見るところや感じるところやペースが違ってくる。

佐藤 9月に作業部会を立ち上げるということでよいか。

藤田 正直言って9月も厳しい。

佐藤 内容を詰めて10月に歩くということでよいか。

区 作業部会で具体的にどこまでやるか。原稿のゲラの前段階まで目指すのかどうか。

直本 作業部会は下準備、下準備で決まらないことは部会に相談するという位置付けにするのはどうか。

佐藤 コースは作業部会を立ち上げ、実際に歩いて検討していく。目次は大まかな内容は各自に提案してもらった内容とし、細かい部分は作業部会で検討し、部会の方に戻す。3月に印刷業者に話ができるくらいの情報を収集するため、9月くらいに作業部会で何をやっていくかを決め、10月に現地を歩いていくこととする。

大村 体操については、保健所と打合せを進めたほうがよいのではないか。

区 実際に先方と話をすることはできる。今後調整する。

4 坂道マップを活用したイベント等の検討

佐藤 マップをつくる段階で川崎フロンターレの選手などと一緒にコースを歩いて、そのときの様子や感想を載せられるとよい。マップ発行前PRもできる。

直本 そういったことを最初のイベントにできるとよい。

区 イベントについては、ウォーキング大会などを挙げているが、具体的に何なのかという話をできないといけない。

藤田 それはこれから議論ではないか。

佐藤 今日の議論をもとに全体会で説明するときに口頭で補足するくらいでよいか。

区 検討状況を紹介するくらいとするか。例えがないと分かりにくいと思った。

直本 坂道ウォーキング大会といえば、コースを歩いて、その間にクイズやチェックポイントを用意するということがイメージできる。

藤田 イメージはいくらでもできる。座間市の坂道マラソンの話を聞いてから考えたい。

佐藤 どのようにスポンサーを集めたか、どのようなコースを設定したかなどを聞いてみたい。これまでの議論や宿題をもとに事務局と相談し、検討状況報告という形で全体会で発表する。一任してほしい。

第3期宮前区区民会議 第8回 活力づくり部会 摘録

5 その他の提案

恒川 宮前区は標識があまりない。散歩コースの標識設置は考えてもよいと思う。
開発に伴いできた新しい坂道の名称をつけることも提案してはどうか。

6 次回日程等

1) 次回日程

- ・ 活力づくり部会、作業部会日程は後日調整の上、決定する。
- ・ 作業部会メンバーは佐藤部会長、藤田委員、大村委員を想定する。

2) 全体会への参加の呼びかけ

山下 全体会は重要。傍聴者が非常に少ないので、増やしたいところ。ぜひ参加してもらえるよう委員は呼びかけをしてほしい。

区 次回全体会は座間市の坂道マラソンの取り組み紹介もあるので、ぜひお願いしたい。

以上